



開会の挨拶 馬場淳奈良1区市民連合共同代表

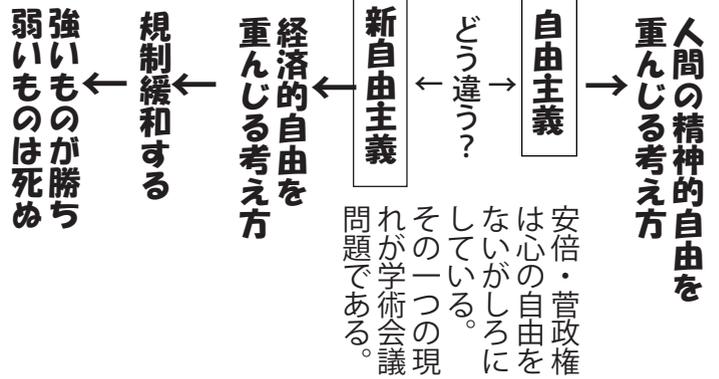
出鱈目なマヤカシ・ゴマカシ・タブラカシのアベ政権が退場、後をついだスガ政権の、開口一番自助・共助・公助と言い放つ前近代的な感覚は恐ろしい。前政権と同じ憲法を守らない人たちなのだろう。99条を守る義務がある官邸と国会議員が憲法を棄損してきた。

2015年9月19日参議院で安保法制を可決、自衛隊の海外派兵を可能にしたその大きな反対の声から生まれた市民連合の要望は、賃金、雇用、平和、人権教育と憲法が保障しているものばかりだが、保守政権では殆どないがしろにされている。

日々の生活に困窮し塗炭の苦しみの中に生きている人たち、非正規の安い給料の中で労働組合の存在も知らず、自分の努力が足りないのかと苦しむ若者、少ない年金に困窮し医者にもかかれず息をひそめて暮らしている高齢者。多くの国民の生命と暮らし、人間の尊厳と権利が脅かされている。原発・新自由主義が命の安全と安心に襲い掛かってきている。

こんな政権に対抗し政権交代を果たすためには、立憲野党が共闘する以外にない。共闘が成功するためのカギは市民が握っている。どうぞ皆さん力を貸してください。チラシの1枚でも撒いてください。そうすれば立憲野党を動かし政治を変えることが出来る。共に頑張りましょう。

日本学術会議の問題について



菅首相が学術会議が推薦の委員105人の内の6人を任命拒否したのは、恐らくこの6人が政権を批判したからだろう。しかし総理には学術会議会員に対する実質的任命権はない。菅首相は「学問の自由」の意味が分かっていないのではないか。菅首相の行為の重大性は、学術会議の独立性、自律性を破壊したことである。学術会議は学問の自由という大切なものを守る砦として独立性がある。この独立性が破壊されるといことは、中にある学問の自由が脅かされるという関係にある（堤防は人の命を守るためにあるが、それが決壊すると命が脅かされるということと同じ）。これは言論の自由への侵害であり、生活者の表現の自由の侵害のきっかけになる。

↓そして

●愛知トリエンナーレの「表現の不自由展・その後」で展示物に問題があるとして、補助金の不交付を決めた。後日一部を除いて公布したが、これは表現の自由に対する侵害である。

●2017年の参議院選で安倍首相が札幌で街頭演説をしている時、ヤジを飛ばした市民一人をその場で警官が拘束をした。

逮捕状もなく拘束するのは憲法違反。このような形で草の根の表現の自由が侵されてきている。

学問の自由は学者の世界だけの問題ではない。学問の自由は全ての人が持っている基本的人権です。



メディアはどう変わったか

●アクセスジャーナリズム(総理など有力者に張り付いて直接情報を得るやりかた)がはびこっている。このやり方では政権にとって都合の良い情報しか入らず、従って政権にとって都合の良い報道しかなくなる。

●調査報道↓自ら問題をあぶりだす報道。しんぶん赤旗の桜を見る会のスクープがその好例。ジャーナリズムの真骨頂と言え、最も信頼できる。

お出かけください!

**11.21**  
「平和といのちと人権を守る政治に!」

市民と立憲野党の共闘で政権交代を  
奈良1区から野党統一候補を

**in 奈良 集会**

**市民と立憲野党の街頭トーク集会**

#安保法制廃止! #いのちとくらしを守ろう!  
#改憲反対!  
#学術会議人事介入は憲法違反!  
#学問の自由を守ろう!  
#敵基地攻撃能力保有は憲法違反!

Dates **11月21日土**  
14:00 ~ 15:00

Place **JR奈良駅前東口広場**

フラカードやアピールボードを持って  
参加しましょう!

主催 奈良1区市民連合  
[連絡先] 佐川 愛子: 090-9885-9756  
nara1shiminrengo@gmail.com